



体育館フロアでの上演イメージ

能「土蜘蛛」

つちくも

蜘蛛の妖怪 VS 源頼光の家来たちが繰り広げる、
勸善懲惡ストーリー!

能「土蜘蛛」あらすじ

※能の後半部分のみ上演

時は平安。源頼光(みなもとらいこう)に仕える独武者(ひとりむしや)は、頼光を襲った土蜘蛛を退治するため、供の武士を連れて土蜘蛛が棲む塚におもむく。塚を突き崩すと、中から現れた妖怪土蜘蛛は、次々に千筋(ちすじ)の糸を繰り出し、激しく応戦するが、ついには独武者たちによって退治されてしまう。手品のように繰り出される蜘蛛の糸、能独特の殺陣(たて)など、華やかな演出に注目です。



体育館ステージ上での上演イメージ



体育館フロアでの「柿山伏」上演イメージ

柿どろぼうの山伏を畑主がこらしめる、
痛快ものまねコメディ!

狂言「柿山伏」

かきやまぶし

狂言「柿山伏」あらすじ

畑の柿を山伏に盗み食いされた畑主が、柿の梢に隠れた山伏をこらしめてやろうと、カラスやサルなどさまざまな動物の鳴きまねをさせる。ついに「鶯(とび)だ!」といわれた山伏は、思わず木から飛んでみせるが、もちろん墜落!足をくじいて畑主に治療を頼むが…。畑主の声に翻弄される山伏の滑稽な姿、狂言ならではの動物の鳴きまねをお楽しみください。

公演のプログラム

① 事前ワークショップ

<座学の部>

- ・テキストを参考に能楽の基礎知識を学ぶ
- ・演目のあらすじを「紙芝居」で、小学生にも分かりやすく紹介

<体験の部>

- ・「謡曲（ようきょく）」の一節を謡う
- ・「すり足」で歩く
- ・「能面」を掛けて歩く
- ・「蜘蛛の糸」をまく

② 本公演

<第1部>

- ・狂言「柿山伏」の鑑賞
- ・能「土蜘蛛」の鑑賞

〔休憩〕

<第2部>

- ・能楽囃子（楽器）の体験
- ・狂言の体験
- ・質疑応答

上演する学校は、体育館など場所を提供していただくだけです。必要な舞台や道具は観世九臈会が用意します。公演当日も1時間程度での設営、終演後は30分程度で撤収が可能です。



事前ワークショップでは『土蜘蛛』の「謡」（うたい＝歌詞）の一節を全員で謡い、舞の基本となる「構え」や「すり足」を体験。さらに、代表生徒は能面をつけて舞台を歩き能楽師の視線を体験します。



本公演当日、能「土蜘蛛」の終了後には、代表の生徒が楽器を使い、残りの生徒全員で合奏をします。また、狂言は全員で所作やセリフ、おおらかな笑いの表現を体験をします。

【実施団体】こうえきしゃだんほうじん かんぜきゅうこうかい 公益社団法人 観世九臈会

- ・明治時代より100年以上の歴史をもつ演能団体。
- ・重要無形文化財総合指定者18名が所属。
- ・学生向けの能楽鑑賞教室を60年以上主催する実績があります。

詳しい内容を動画でご覧いただけます！

観世九臈会・巡回公演
プログラムご紹介



文化庁巡回公演事業
ホームページ



観世九臈会
ホームページ



<お問い合わせ先>

公益社団法人観世九臈会（担当：芝田）
〒162-0805 東京都新宿区矢来町60番地
TEL: 03-3268-7311 / Mail: yarai@eos.ocn.ne.jp

「能楽」とは？

『能楽』とは…

約650年前から続く「お芝居」です

「能」は、シリアスな物語を演じる仮面劇です。主役の「シテ」、脇役の「ワキ」、狂言の登場人物と、楽器を演奏する「囃子（はやし）」、合唱を担当する「地謡（じうたい）」が繰り広げる日本独自の歌舞劇です。また、「狂言」とは、人間の誰もが持っている心の機微を、おおらかな笑いで表現したセリフ劇で、昔も今も変わらない、愛すべき人間の姿を描き出しています。実演や体験を通して、能楽の持つ日本の伝統美や伝承の技と心を、間近でお楽しみください。